

畠山紗英さん

第34回 全日本BMX選手権大会
応援レポート

2017年7月1日(土)・2日(日)
静岡県伊豆市 日本サイクルスポーツセンター

同一世代5連覇中。絶対女王として今年も優勝を目指す！

今年高校3年生の畠山さんは、これまでの全日本選手権で、同一世代カテゴリー5連覇を果たしてきた。(昨年

は女子ジュニア、2015年・2014年女子15歳以上、2013年・2012年女子13・14歳カテゴリー)。直近では海外レー

スへの参戦と海外合宿が続いていたが、6連覇に向けて一時帰国。応援に、会場へ向かった。



7月1日は練習日。風が強く「向かい風がキビシイ。明日は止むといいんですが」といながらも、調子は上々な様子

3回走行とも1位。完全優勝おめでとうございます！

7月2日の決勝日は梅雨の間の蒸し暑い曇り空に。大会は6歳からのレースがあるので家族連れで賑やかだ。39レース目に畠山さんの第1回走行がいよいよスタートした。合図とともにゲートが倒れ、スタートヒルの急坂を

畠山さんが猛スピードで下り、あっという間にトップに。デコボコなロードを走って飛んで、そのまま1位でゴール！

畠山さんは2回目も3回目も危なげなくトップを維持。まるで当然のように優勝。おめでとうございます！



ゲートの真下は急な下り坂。畠山さんはすぐにトップに躍り出た



BMXレース

全長300m～400mの舗装されていないオフロード上にあるジャンプ台やバームと呼ばれるコーナー、こぶなどの様々な障害物をコントロールしながら走り抜ける競技。タイムではなく順位で争われるため、高度なテクニックやバランス感覚、ライダー同士での駆け引きなどが要求される。スタートの合図は録音の声によって行われ、フライング防止のため設置されたゲートが倒れてライダーが駆け下りていく。今回女子ジュニアの選手は3名のエントリーだったため、女性エリートとの混成でレースを行う。3回走行した順位点合計で順位が決定。



畠山さんのカテゴリは女子ジュニア。
女子エリートの混成レースで、畠山さんは1位
だった。素晴らしい！
表彰は女子ジュニアカテゴリーで行われた

結果

Class	Plate No.	氏名	都道府県/所属	Age	Heat No.	round 1	round 2	round 3	Moto total
Women Elite	119	瀬古 遥加	10009180527 三重県 / IRC TIRE	21	39	4	3	2	3
Women Elite	77	飯端 美樹	10006094917 大阪府 / SE Racing	32	39	5	5	5	5
Women Elite	46	朝比奈 綾香	10009180628 大阪府	21	39	6	6	6	6
Women Junior	4	畠山 紗英	10011100925 神奈川県 / 白鵬女子高等学校	18	39	1	1	1	1
Women Junior	5	永禮 美瑠	10020885801 愛知県 / KUWAHARA BIKE WORKS	17	39	2	2	4	2
Women Junior	6	丹野 夏波	10020780010 神奈川県 / 白鵬女子高等学校	17	39	3	4	3	4